

平成30年度 第4回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 平成31年2月22日（金）午後2時00分～4時00分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 上田、西田、鶴岡、堺(婦)、野田、松尾、江崎(君)、後藤、藤本、岡本、江崎(美)、堺(裕)（敬称略）
- 【欠席委員】 原田、柿川（敬称略）
- 【行政関係者】 中村市民協働部長、中島市民協働部調整監、徳川地域コミュニティ推進課長、大倉野生涯学習課長、徳永スポーツ推進室長、平田人権・同和教育課長、川地世界遺産・文化財室長、吉富生涯学習課青少年教育担当主査、蓮尾スポーツ推進室主査、西田地域コミュニティ推進課社会教育主事、上田同課社会教育担当職員

◆あいさつ

中村市民協働部長

◆報 告

1 平成30年度 社会教育事業について

配布資料『社会教育事業等の推進状況』に基づき、各課長より報告。以下のような意見が出た。

委員	子ども未来デッサンは、非常に画期的だと思った。オリンピックで英語が必要という話がある中、英会話の回の参加者が少し少ないなあと感じた。募集定員や、どこにPRをしたのかを教えてください。
行政関係者	定員については、先生との打ち合わせで募集定員を設定している。広報おむたやチラシでPRを行った。内容によっては定員を超えるものもある。小学校への案内は行っているが、それ以外の団体にはしていない。
委員	一人で参加するのは難しいと思うので、団体への声かけが必要ではないか。
委員	総合体育館について、早いうちに計画決定することだがどのような予定なのか。
行政関係者	平成31年度には計画を決定する予定。
委員	オリンピックが近づいてきたが、近隣自治体では、外国チームの練習地として誘致をしているところも多い。大牟田には外国からの問合せはあったのか。
行政関係者	現在、具体的な国名はいえないが、キャンプ地誘致活動をしている。県に働きかけながら、一緒に誘致活動を行っている状況。
委員	スポーツ普及員53人のうち、女性はどれくらいいるのか。
行政関係者	7～10人程度
委員	各校区に女性1名はほしい。事前にコミュニティの役員に女性を推薦するよう指導はしているのか。

行政関係者	女性をとという指導はしていない。成り手次第が少ないので、なっていたかのように依頼している。
委員	ぜひ働きかけがあるといいなと思う。
委員	校区に依頼する際にそのような一文を入れていただければと思う。
議長	体育館で難儀している点は。
行政関係者	他の公共施設との合築等。どのような機能を持たせるか等調整をしている。
議長	65 ページ3(1)の事業は参加者が多いということだが、事業の拡充等は考えているのか。
行政関係者	31 年度も 30 年度同様、5 回で実施予定。
議長	ニーズに合わせた実施をしていただきたい。
委員	25 ページの企業出前講座について、企業数が 8 から 11 に増えているが、回数は昨年度末の実績より少ないのは、3 月末までの実績が入れば同回数程度にはなるのか。
行政関係者	企業からの報告があった回数を記載しているので、3 月末までの実績となれば同程度になる予想。
委員	就学前子育て講座には、対象者の全員が参加しているのか。
行政関係者	入学説明会を活用し実施している。今年度は 80%を超える参加を頂いている。
委員	63 ページのサマースポーツ教室について、夏休みに入ってしまう時期は野外教室があり参加が難しい。また、近年の異常気象等を踏まえて時期等の対応を検討いただきたい。
行政関係者	指定管理者による事業であるが、こまめな水分補給の指導を行った。日程変更等は現在のところ考えていない。
委員	補充学習等もあるので、時期や内容など校長会等を利用して検討する機会を設けていただければと思う。
委員	11 ページの地域力アップ支援事業について、今年度は自分の校区は防災を行った。例えば、ダンスの事業を取り入れたら、若者の定着が出来ないか。
行政関係者	地域力アップのテーマは協議により決定している。地域の課題には人材発掘が多い。若い人に参加してもらえることが人材発掘につながると思うので、事業の見直し・レベルアップをしていきたい。

2 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究平成30年度市民意識調査等の結果について
配布資料『大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究 平成30年度市民意識調査等の結果について』に基づき、大倉野生涯学習課長より報告。

◆ 議 題

1 社会教育委員の会議をふりかえって

委員	このような場があることを初めて知った。学校だけでは出来ないと思った。委員の皆さんの意見・視点で、気づくことも多く、子どもを大切にしようという場となった。
委員	学校でも人づくり・まちづくり。色んな取り組みをされていることを聞いて、驚いた。自分は同じ委員であるが、この先どうして行くかという視点までは出来ていない。気づくきっかけとなる場だった。
委員	子どものことを考えてくださっているし、市の事業がたくさんあることを知ることができた。委員の皆さんの色んな意見を聞くことができ、もっとお話をききたいなと思った。
委員	子育てサークルの代表で参加している。前回の会議で子育て情報誌おおむたっ子の社会教育委員からのメッセージについて、たくさんの意見をいただき、まとめるのが大変ではあったが良いものが出来た。保護者の方たちにこのような媒体を使ってアピールしていければと思う。
委員	1年間、分らず過ごしてしまったが、南筑後で開催された研修会に参加させていただき、ベテランの方のお話に圧倒されたが大変勉強になった。
委員	体育協会の代表として参加した。来年はいよいよオリンピックが開催される。大牟田の子ども達に何か本物に触れられる機会をつくっていただきたい。
委員	会議には参加させていただいたが、なかなか研修会には参加できなかった。前回の研修報告にあった熊本県知事の「なりたい自分になる」という言葉が印象に残っている。
委員	社会教育委員を初めて知ったが、研修に参加させていただき、自分も頑張りたいと感じた。生涯教育に携わることには、町内公民館が大切。皆で何かをするという経験を子どものときから。
委員	地区公民館のパソコンサークルに参加し、まち協で資料作りをしている。まち協の加入率が年々下がってきている。小学校・中学校の子どもや父兄を説きこまなければ地域は育たない。子どもを取り込む連携は出来ているかなと思う。
委員	高齢者には教育が充実しているけど、子どもへの教育はそれに比べると少なく感じる。子どもが怒られなれていないので、地域の人が怒る(指導する)。子どもは家庭・学校・地域の3者で、子どもを育てないといけないと思う。子どもを育てることは将来にとって大切。簡単なしつけを守っていないところを見逃したら、子どもはやってもいいと思ってしまう。
委員	研修で学校と地域がどんな図になったとき、学校から地域にという協働を学ばせてもらった。学校だけ・地域だけ・家庭だけではできない。子どもを

	中心において、集団の輪が広がっていく中、大人が関わっていく。みんなの想いが次の世代を作っていく。
議長	2年目も皆さんと一緒に考えていければと思う。

◆その他

生涯学習ボランティア”まなばんかん”フェスタ 2019 について